

事項	ほうれんそうの夏まき雨よけ栽培における遮光の効果		
ねらい	ほうれんそうの夏まき雨よけ栽培において、高温による発芽不良や生育不良が問題となっているため、遮光処理が発芽や収量、品冊に及ぼす影響を検討したところ、その効果が明らかになったので参考に供する。		
指導 参考 考 内 容	<p>1 遮光処理の効果</p> <p>(1) 発芽率の向上 は種以降、遮光処理することによって地温の上昇が抑えられ、発芽率が向上する。</p> <p>(2) 収量、品質の向上 遮光処理によって収量が増加し、また、葉やけ症状が軽減され、品質が向上する。</p> <p>2 遮光方法 遮光資材の被覆期間は、は種～は種3週後までとする。 被覆方法は、地上2mの位置で平張りとする。 遮光資材は、遮光率が40～45%のシルバータフベル3800S等が、収量、品質が良く有効である。</p> <div data-bbox="614 1052 1236 1332" data-label="Image"> </div> <p>図1 パイプハウスにおける遮光資材被覆例</p>		
期待される効果	夏まき雨よけ栽培において、収量、品質が向上し、高品質生産が可能になる。		
利用上の注意事項	曇天が続く場合は、遮光により生育が遅れたり、軟弱徒長ぎみになるため、遮光資材をはずす。		
担当	青森県畑作園芸試験場 栽培部	対象地域	県南地域
発表文献等	平成9、11年度 青森県畑作園芸試験場成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

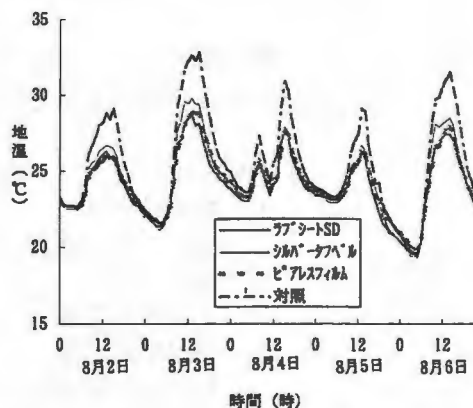
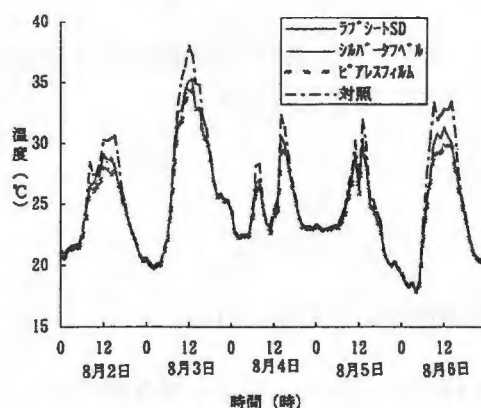


図1 被覆資材別気温変化 (平成9年 青森畑園試)

図2 被覆資材別地温変化 (平成9年 青森畑園試)

表1 被覆資材別の発芽率 (%) (平成9年 青森畑園試)

被覆資材	調査日	8月3日	8月5日	8月7日
対照(無被覆)		11.0	52.9	55.0
ラブシートSD		43.3	91.9	97.3
シルバータフベル3800S		48.1	87.6	94.3
ピアレスフィルム		34.8	70.5	72.5

注) ラブシートSD : 材質ポリエステル+アルミ (遮光率70%)
 シルバータフベル3800S : 材質ポリビニルアルコール (遮光率40~45%)
 ピアレスフィルム : 材質ポリエステル+アルミ+ポリ塩化ビニール (遮光率72%)

表2 被覆資材別の収量 (kg/a) (平成9年 青森畑園試)

被覆資材	項目	収穫日	総収量	上物	下物	
					S未満	障害株(葉やけ)
対照(無被覆)		8月27日	110.0	98.0	4.9	7.1
ラブシートSD		8月31日	133.1	130.4	2.7	0.0
シルバータフベル3800S		8月28日	140.4	138.9	1.5	0.0
ピアレスフィルム		9月1日	129.8	127.8	2.0	0.0

注) 被覆期間: は種~は種3週後

表3 被覆期間と収量 (kg/a) (平成11年 青森畑園試)

被覆資材	項目	収穫日	総収量	上物	下物	
					S未満	障害株(葉やけ)
対照(無被覆)		8月31日	56.0	26.6	23.5	5.9
は種~は種2週後		8月31日	98.3	84.3	10.8	3.2
は種~は種3週後		8月31日	101.8	86.9	14.3	0.6
生育全期間		8月31日	77.1	72.2	4.9	0.0

注) 被覆資材: シルバータフベル3800S

試験条件

- 1 供試品種 アクティブ
- 2 は種期 7月31日(平成9年)、7月26日(平成11年)
- 3 栽植様式 畦幅150cm、株間5cm、条間15cm(6条植)
- 4 施肥量 窒素0.7kg/a、リン酸0.7kg/a、加里0.7kg/a(全量基肥)
- 5 被覆方法 地上2mの位置で平張り

(参考) 資材価格

ラブシートSD: 200cm×100cm 80,000円(40,000円/a)
 シルバータフベル3800S: 200cm×100cm 23,000円(11,500円/a)
 ピアレスフィルム: 100cm×100cm 36,000円(36,000円/a)